



XML Consortium

[第8回 XMLコンソーシアムWeek 関西Day]

# Webサービス実証部会 活動状況のご紹介

2009年6月17日

Webサービス実証部会  
松山 憲和(PFUソフトウェア)

Copyright © XMLコンソーシアム 2009 All rights reserved.

## Webサービス実証部会:活動方針



### XML、特にWebサービス技術の 実ビジネスシステムへの適用と検証

#### プロトタイプシステム開発

- ① 実ビジネスに基づくプロトタイプシステムの開発
- ② XML応用規格を利用したプロトタイプシステムの開発

#### XML/Webサービス関連プロダクトの評価

- ① 相互接続性検証 フィードバック
- ② 開発生産性、使用感

#### XML/Webサービス応用技術の普及・推進

- ① 定例セミナー・総会等での発表
- ② 学会、雑誌等での発表
- ③ Webページによる情報の発信
- ④ 製品紹介セミナーの開催

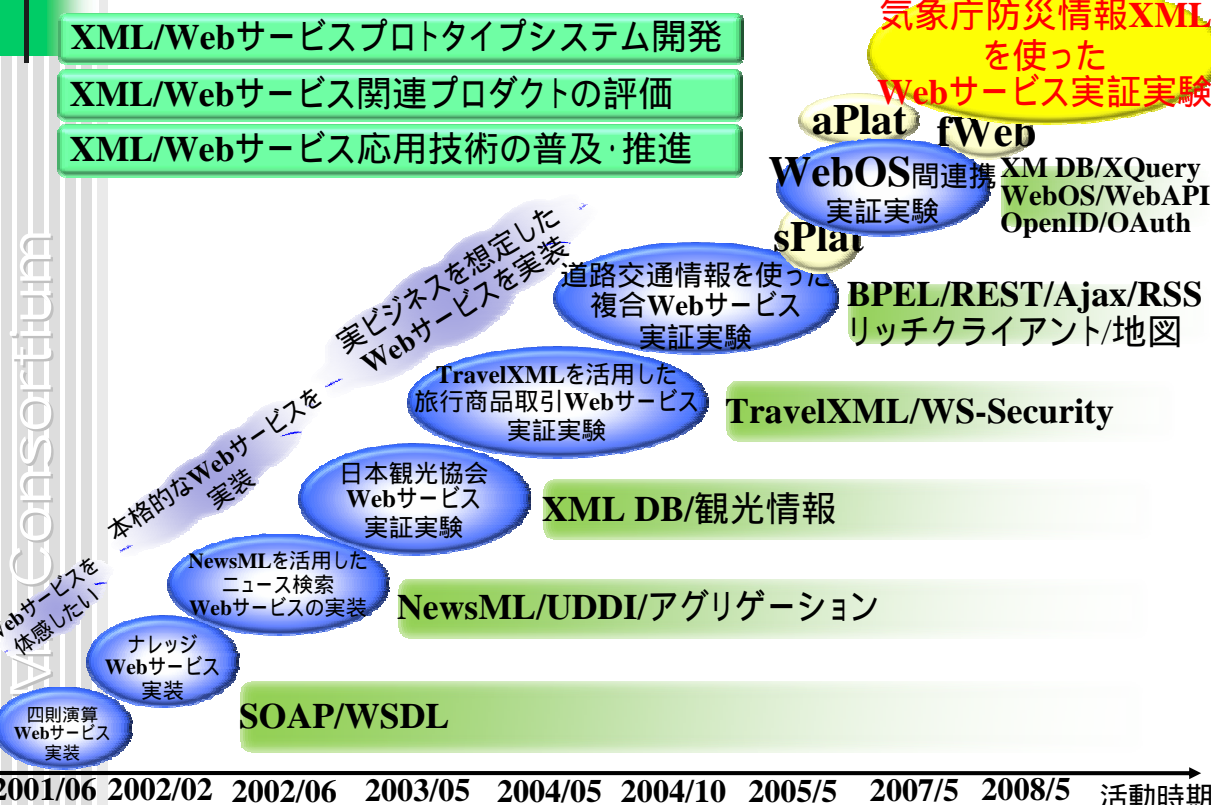
XML Consortium

Copyright © XMLコンソーシアム 2009 All rights reserved.

# 2008年度の活動状況



活動内容



## ニュースリリース

### 「気象庁防災情報XMLフォーマット」.0) の仕様を策定



XML Consortium

報道発表資料  
平成21年5月15日  
気象庁  
XML Consortium

気象庁とXML Consortium  
「気象庁防災情報XMLフォーマット」(Ver.1.0)の仕様を策定

気象庁は、地震・津波情報等の防災情報の幅広い活用を目的として、気象庁は、XML Consortiumの協力を得て、「気象庁防災情報XMLフォーマット」(Ver.1.0)の仕様を策定しました。今後、この仕様に基づき各種の防災情報の提供の準備を進めていきます。

気象庁は、自然災害の軽減、国民生活の向上、交通安全の確保、産業の発展などに資するため、警察、消防など各種防災情報の改善・高度化に努めています。この防災情報の一層有効な活用を確保するため、気象庁は、利用者の様々なニーズへの対応やシステム効率などの観点から、提供する情報の形式について、情報の種類毎に国家の形式で定めているこれまでの方式に代えて、汎用性が高く、広く一般に普及しているXML形式を採用することとしました。

情報形式の検討及び仕様の策定にあたっては、平成19年度からXML Consortiumの協力を得て作業を進め、また、仕様策定に対する意見公募を2回実施するなど、多くの皆様のご支援、ご意見を頂き、今年、気象庁は「気象庁防災情報XMLフォーマット」(Ver.1.0)の仕様を策定しました。

また、公開に先立ち、XML Consortiumでは、「気象庁防災情報XMLフォーマット」(Ver.1.0)について、数多くの動作環境において検証作業を実施し、運用上の問題のないことを確認しています。

「気象庁防災情報XMLフォーマット」の仕様の詳細、サンプル電文等は下記のホームページから入手頂けます。また、今後同ホームページにおいて、同仕様の利用に必要な情報を提供してまいります。

<http://xml.kishou.go.jp/>

気象庁では、今後、この仕様に基づく防災情報の平成22年度の配信開始に向け準備を進めるとともに、引き続きXML Consortiumの協力を得て、仕様の普及に取り組んでまいります。

## 実証実験:目的



気象庁から配信される（平成22年度～）  
気象庁防災情報XMLデータを活用することで  
住民ひとり一人を災害の危機から守るための  
防災情報伝達システムモデルを検討



## 本実証実験のポイント（要件）



### 確実・網羅

全ての住民に防災情報を確実に伝える。

- ▶情報の確実な通知（送達確認、デジタル署名）
- ▶様々な住民環境に応じた伝達手法
- ▶ユニバーサルサービス

### 状況・的確

住民のその時点での状況に応じて必要となる防災気象情報を、適切なタイミングで伝える

- ▶現時点、将来のある時点での位置（位置情報）や環境（屋外or建屋、電車/地下鉄or徒歩...）
- ▶性別、年齢、健康状態など住民のプロファイル
- ▶関係ない情報のフィルタリング

### 迅速・簡単

防災情報を受けた後の、迅速かつ適切な行動へと促す。

- ▶誰もが迅速かつ簡単に気象防災情報を受け取れる操作性

# 本実証実験のポイント (技術)



## 确实・網羅

- ▶ **WS-ReliableMessage**を使った防災情報XMLデータの确实な配信
- ▶ **WS-Security**を使った防災情報XMLデータへの電子署名付与
- ▶ PCだけではなく携帯端末・紙(FAX)・インターネットラジオなど様々な経路による防災情報の配信(Push型/Pull型)
- ▶ 携帯端末(Androidなど)間通信によるネットワーク網での情報伝達
- ▶ **EXI(Efficient XML Interchange)Framework**を使ったデータ圧縮

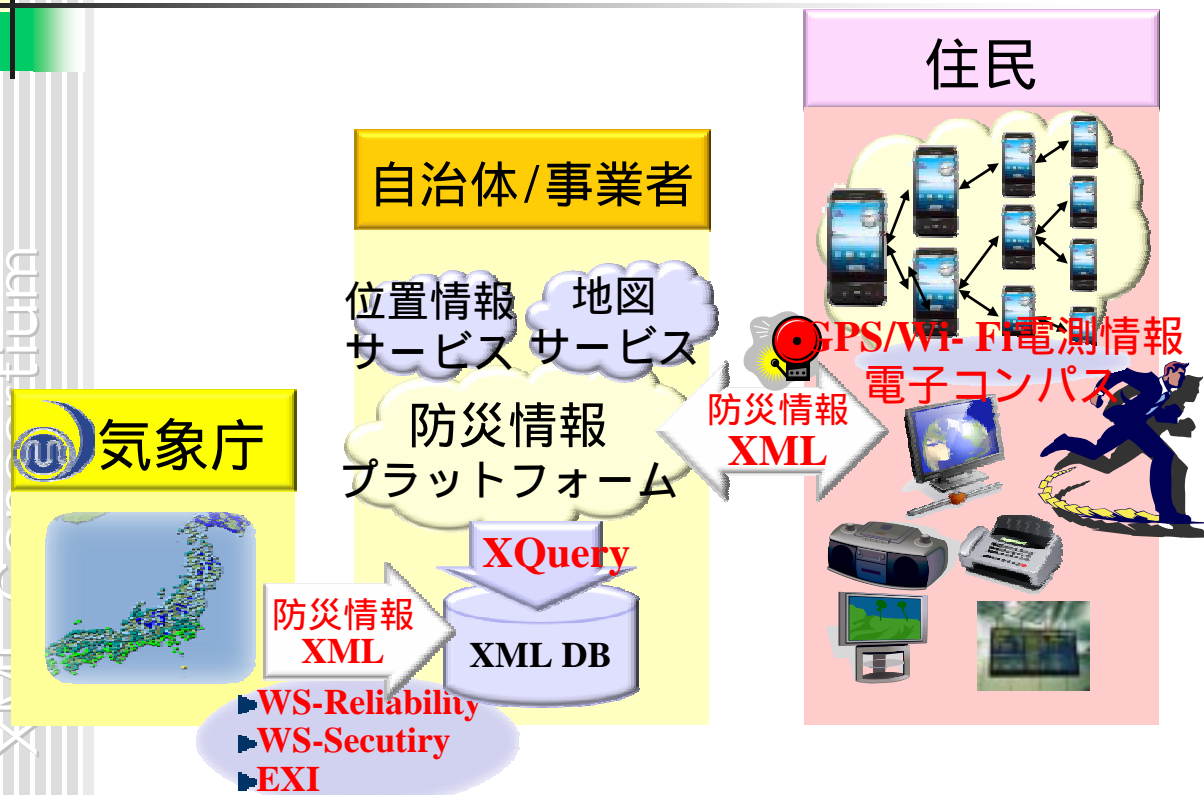
## 状況・的確

- ▶ **GPS**や**Wi-Fi電測情報(PlaceEngine)**から取得した位置情報を使った防災情報XMLデータのフィルタリング
- ▶ **XML DB**による防災情報XMLデータの蓄積
- ▶ **XQuery**によるデータ抽出/

## 迅速・簡単

- ▶ 地図などの複数のサービスを連携(Mashup)した分かり易い防災情報の提供
- ▶ **電子コンパス**を使った避難方向の指示
- ▶ 防災に特化した専用WebOS

# 全体概要



### 気象庁防災情報XMLを使った実証実験 版に向けての途中経過報告

荒本 道隆 (アドソル日進)  
高橋 公一 (日本電気)  
上村 準也 (キャノンソフト情報システム)  
斉藤 智嗣 (アドソル日進)

### 気象防災情報XMLを使った実証実験 今後の展開

松山 憲和 (PFUソフトウェア)



XML Consortium

【第8回 XMLコンソーシアムWeek 関西Day】

## 成果発表をお楽しみください